

これからは
ファイギュアを
買って
置く
心置きなく
並べられる
自室に

一人暮らしを
始めた僕は
上ツンでいた
が

金欠のため
実家の蔵に
シヨクベ
そこに並べ
ることにし
た



僕はそれと
今日そと
ファイギュア
を開封した

上部が汚れて
普通は見ない
問題は分た
ないので

呪いの ファイギュアケース

「おお……」
予想以上の出来に
思わず声が漏れるに

キヤラの個性であるデカ乳や
抱き心地の良さそうな体が
シンプルながら造形ながら
力強く表現されているから

特に乳肉が水着の端から
はみ出してきている
部分に強いこだわりを感じる

とても素晴らしい
フィギュアだ

一通り鑑賞を
楽しんだ僕は

これから先の生活に胸を
躍らせながら寝た



気がつくとも
僕は何かに
夢中に腰を振っていた

何度か冷静になろうと
試みたが全身に押し寄せる
快感に思考がまとまらない

わさかつたのは自分
小さかつたのは自分
今さかつたのは自分
腰を振ったのは自分
非現実的な状況だった



そしてそのフィギュアの
抱き心地に
ただただ興奮していた

肌や水着の感触
体温、汗、匂いなど
まるで本物のようだ

全体が小さい分
全身でそれらを
堪能することができる



僕はあつけなく
その肉人形に吐精した

刹那に過ぎるものではなく
重くよんなわりと芯まで
響くような射精の余韻に
腰が抜ける♡
本気でそう思った♡

ドク...

ドク...

いつまでものらない快樂に
終わることもない快樂に
僕はただ全身を震わせながら
味わい続けた

ドク...



気がつく前に自室の
ベツトの上にいるたの

夢精まで
し過ぎて
体が怠
恥ずかしい
しい

妙に生々しい
夢だつた

昨日のフィギュアを
置いたからだろうか
夢を見たのだから
置いたかま

...











